

プチ花火大会



10月9日(土)に母子幼小運動会を実施した後の運動場に、たくさんの地域の方々が集まって来られました。プチ花火大会の準備のためです。

新型コロナ禍で母子の夏祭りが中止となる中、「何か子どもたちの元気が出ることはできないか」「子どもたちを笑顔にできることはないか」という声のもと、実行委員会を立ち上げ、『ぷち花火大会』が計画されました。当初は夏休みに予定していましたが、緊急事態宣言発出中のため、延期となりました。実行委員会の方々が花火の買い出しから、チラシの作成まで本当にお世話になり、開催の運びとなりました。

当日の準備は何分初めてのことが多く試行錯誤の連続で、手間取ることもありましたが、地域の方々の楽しそうに準備している姿が大変印象的でした。



6時30分、母子地区の今北区長さんのあいさつを皮切りに、花火が打ち上がりました。たくさんの打ち上げ花火、吹き出し花火、最後はナイアガラの滝の花火と、綿密に打ち上げる順番も計算され、とてもにわかとは思えない迫力のある花火大会となりました。手持ち花火のお土産を手にした子どもたちは、どの顔も満足感でいっぱいでした。

普段見ることのない母子地区ゆかりの方々の顔も多く見られ、改めて、母子の方々の温かさ、団結の力を感じる行事となりました。本当にありがとうございました。

